

研究プロジェクト 2018 年度活動報告 「スポーツの現代的課題」

1. 研究課題

オリンピックを中心に、スポーツに関する現代的な諸問題を総合的に考察する。

2. 概要・目的

2020年・東京オリンピック・パラリンピック開催をきっかけとして、スポーツ及びオリンピックに関する現代的な諸問題について、多角的な視点から検討を加える。その背景には、スポーツ界における東洋大学の知名度を、単に、実技面だけでなく学術・情報面でも高め、その発展に貢献するとの目的がある。

研究の方法・視点等については、特定の専門分野に属する者のみが理解可能であるような対象・分析・記述方法をできるだけ避け、万人にとって興味深く、その内容を理解することが可能であり、なおかつ、学術的な価値の高いもの、を追求していく。このことは、総合研究所のプロジェクトという性格からも、また、特定人による学問の独占に反発した学祖・井上円了の考え方にもかなうと考える。

プロジェクトの進め方としては、①プロジェクト・ペーパーの発行、②研究会・講演会等の開催、③書籍の刊行が中心になる。①について、研究員を中心に執筆依頼を行っていく。400×50字程度を上限とし、60部発行する。②について、報告者を募り、年間4回程の研究会等の開催を目標としている。③について、①②の成果を踏まえて、3～4年に1冊の刊行を目標とする。

なお、①について、その内容は執筆者の自由であるが、自身の専門とスポーツとが何らかの形でクロスした領域であること、東洋大学の3つの柱である「哲学」・「キャリア」・「グローバル」のいずれかを意識したものであることを求めている。

3. 研究メンバー(構成)

宮原均、齋藤洋、室松慶子、芦野訓和、朝倉輝一、グリーン、H. スチーブン、清水宏、佐藤修一郎、谷塚哲(以上、東洋大学)、永石啓高(苫小牧駒澤大学)、鈴木陽子(武蔵野学院大学)、伴好彦(武蔵野短期大学)、清水真(明治大学)、鈴木崇之(首都大学東京)、始澤真純(東洋大学大学院生)

4. 今年度の成果報告

今年度は、前年度に研究会でなされた報告に基づいて、(1) プロジェクト・ペーパーの発行を行った。次に、(2) 日中シンポジウムの開催を計画し、その準備を行った。更に、(3) 馬術競技におけるドーピング検査の実地調査のため、ドイツに研究員を派遣した。そして、(4) 書籍の刊行に着手した。

(1) プロジェクト・ペーパー No.14～No.20として発行(予定含む)

① 社会発展に対するスポーツの影響	齋藤洋	No.14
② スポーツと保険	サラ・ランディーニ	No.15
③ 中村礼子インタビュー	始澤真純(反訳)	No.16
④ 競技者のドーピング検査とプライバシー保護	清水真	No.17
⑤ スポーツ法概観	清水宏	No.18
⑥ 相撲部監督等との座談会(仮)	始澤真純(反訳)(予定)	No.19
⑦ ドイツにおける馬のドーピング(仮)	鈴木陽子(予定)	No.20

(2) 日中シンポジウム開催計画

2020東京オリンピック・パラリンピック開催の前年に国際シンポジウムを開催し、これまでの研究の集大成をはかろうと考え、委員会を設置して開催準備のための会合を重ねた。しかしながら、諸般の事情も重なり、今回は開催しないとの結論に至った。反省を生かし、改めて実現可能な計画を立てたいと考える。

(3) 馬術競技に関するドーピング等の実地調査(ドイツ)

自身も馬術競技のアスリートである鈴木陽子研究員をドイツに派遣した。現地の人脈を生かし、馬のドーピング検査の実施方法等、専門家へのインタビューを含めて有益な情報を入手できた模様である。3月に報告とプロジェクト・ペーパーを提出していただく予定である。

(4) 書籍の刊行

プロジェクト・ペーパーも発行予定を含めて20本になり、その内容も、スポーツに関して「哲学」「キャリア」「グローバル」の視点から整理可能となっていることが分かった。そこで、当初予定したよりもやや早めではあるが、刊行することになった。

*書名

『スポーツの現代的課題－「哲学」「キャリア」「グローバル」の視点から』

*目次

はしがき

第Ⅰ部 思想・哲学

- ◇日本の近代化と嘉納治五郎の思想—井上圓了との相違を含めて—
- ◇スポーツに対するイメージに関する研究
- ◇Kobudo (古武道): Traditional and Physical Culture in Japan
- ◇社会発展に対するスポーツの影響—Calcio Storico Fiorentino を手がかりとして—

第Ⅱ部 アスリートとキャリア

- ◇アスリートのキャリア:「スポーツの現代的課題」としての研究対象と視点
- ◇スポーツと保険—イタリアにおけるキャリア形成の視点から—

第Ⅲ部 スポーツと法の関わり

- ◇スポーツ法概観
- ◇スポーツと政教分離
 - フットボール試合開始前の「祈り」に関する合衆国最高裁判例の検討を中心に—
- ◇競技者のドーピング検査とプライバシー保護

第Ⅳ部 スポーツにおける安全確保

- ◇スポーツルールにおける安全・危機管理システム
 - 馬術競技における安全・危機管理ルールについて—
- ◇スポーツ事故と指導者等の責任
- ◇スポーツ施設の設置・管理者等による観客への不法行為責任
- ◇スポーツにおける被害者の「危険の引受け」

第Ⅴ部 国際社会とスポーツ

- ◇スポーツと政治—ロシア選手団のリオ五輪参加問題—

第Ⅵ部 アスリート及び指導者から見たスポーツの課題

- ◇中村礼子(水泳)インタビュー
- ◇東洋大学相撲部監督等との座談会